



子どもの森づくり通信

(発行:NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

JP子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2015年7月号)

〒144-0054 東京都大田区池上1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
<http://www.kodomono-mori.net> <mailto:info@kodomono-mori.net>

「JP子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方に、
活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



梅雨が明け、一挙に暑い夏となりました。
熱中症など、体調には十分にお気をつけ下さい。
事務局の苗木にも日よけをつけました。

(目次)

1. 地域での活動レポート
 2. 「東北復興グリーンウェイブ」活動レポート
 3. 事務局からのお知らせ
- 新・どんぐり博士の育苗講座（2015年7月号）
～暑い夏！水やりの注意点は？～

■「JP子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「JP子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の幼稚園・保育園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「JP子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運営：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）
- ・特別協賛：日本郵政グループ
- ・後援/協力
 - (公社) 全国私立保育園連盟 (公社) 大谷保育協会
 - (公社) 国土緑化推進機構 NPO法人C・C・C富良野自然塾
 - (一社) 日本森林インストラクター協会 NPO法人自然体験活動推進協議会
 - NPO法人MORIMORI ネットワーク (一社) 日本オート・キャンプ協会
 - (株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部 保育環境研究所ギビングツリー



1. 地域での活動レポート

「東北復興グリーンウェイブ」の活動も植樹会一段落。地元のどんぐりを育てる活動と共に、それぞれの地域での活動となります。以下、活動をリピートしていただいている参加園さんの活動風景をご紹介します。

■岐阜県「浄心保育園」地元の森への植樹活動

- ・日時：2015年6月14日（日）・参加園児数22名・植樹地：岐阜県郡上市白鳥町「油坂桜パーク」
- ・インストラクター：村上悌司氏（森林インストラクター）



平成25年度から油坂桜パークで始まった浄心保育園の植樹会も3年目を迎えました。当初は、雪害獣害等々により4割程度活着すれば上出来と考えていましたが、保護者による草刈や雪囲いが功奏し今のところ生育には差があるものの7割近くの苗が育っています。中には既に1メートルを超える苗木の存在もありました。これは、近くに貸しコテージがあり日常適度に人が訪れる場所なので、野生動物による食害を避けられ本来の樹木同士の競争の結果が出ているものと推測できました。

開会にあたり園長先生より、子どもたちに数年後本当の意味での生態系を肌で感じ取ってもらわねばとの思いで、植えた苗木が全て大きくなることは無く、自然淘汰され最終的には5-6m間隔に1本残る程度になるであろうとの説明がされました。



この後も下草刈りや雪囲いなど浄心保育園の行事予定に組み込まれ苗木のお世話を続けられます。植樹地も10年に亘って植樹行事を続けるほど余裕があるため、世代を越えた子どもの森づくり運動になっていくものを感じました。

本来なら保育園で育てた苗木を植樹するのですが、今冬は積雪が多く移植に耐えるほど生育していなかったため、この苗は次年度に見送ることとし、急きょ岐阜森林インストラクター会の村上さんが育てた苗木を植樹することになりました。用意された苗木は33本、参加園児22名でしたので多くは2本の植樹を経験できました。



2. 「東北復興グリーンウェイブ」活動レポート

■ 東京都「春明保育園」苗木を見送る活動

・日時：2015年5月8日（金）・会場：自園・日本郵政グループ参加者：豪徳寺駅前郵便局 山本局長

今日はみんなで育てた東北のどんぐりの苗木を見送る会です。園児たちが大切に育てた苗木をボックスにつめていきます。

詰め終わった2箱をみんなで運んで、豪徳寺駅前郵便局の山本局長さんに手渡しました。



理事長先生のお話し



苗木を“どんぐりBOX”に詰めました。



“どんぐりBOX”を山本局長さんに手渡しました。

■ 東京都「新宿せいが保育園」苗木を見送る活動

・日時：2015年5月14日（木）・会場：自園・日本郵政グループ参加者：落合郵便局 野口 力さん

今日のために、保育士の先生方が一生懸命パネル・シアターを作ってくださいました。子どもたちはくぎづけ！

みんなで育てた“どんぐり”が東北からやってきて故郷へ戻っていくこと。“どんぐり”を育てる活動を通じて東北のお友だちと繋がっていることなど、子どもたちに活動の大切なことを伝えるために、とても有効な方法と感じました。



園長先生のお話し



落合郵便局 野口さんのお話し



パネルシアター



“どんぐりBOX”に苗木を詰めました。

3. 事務局からのお知らせ

1) 活動レポート動画配信のご案内

活動レポートを動画で配信する試みを始めました。

文字や写真では伝えきれなかった、子どもたちの生き生きとした動画ならではの活動風景をお送りしております。

是非、ご覧下さい。

●ユーチューブチャンネル「子森チャンネル」オープン

年4回程度、節目となる活動風景をお届けします。今回は、「東北復興グリーンウェイブ」第二回植樹会のレポートです。

「子どもの森づくり運動」公式ホームページから、下記の手順でご覧になれます。

①「子どもの森づくり運動」公式ホームページ ⇒②子森チャンネル&通信（TOP左上）⇒③「子森チャンネル」

●日本郵政グループCSR動画

特別ご協賛企業「日本郵政グループ」さんのCSRページでも動画による活動レポートをご覧になれます。

①「子どもの森づくり運動」公式ホームページ ⇒②子森チャンネル&通信（TOP左上）⇒③日本郵政グループCSR動画

*現在、日本郵政株式会社のトップページからもご覧になれます。 ⇒<http://www.japanpost.jp/>

2) 活動参考本のご紹介

J P 子どもの森づくり運動では、生物多様性の観点から苗木の植樹エリアについてはオリジナルの種の移動ガイドラインMAPを作成、活動当初より留意してまいりました。⇒<http://kodomono-mori.net/map-3>
そのガイドラインMAP作成の際にご協力いただきました独立行政法人森林総合研究所 遺伝子グループ 津村義彦先生（現、筑波大学教授）が中心になって「地図でわかる樹木の種苗移動ガイドライン」（文一総合出版/￥5,500+消費税）が出版されました。わたしたちの活動における大切なことが解説されています。
現在であれば著者割引による購入も可能のこと。ご興味のある方は事務局までお問合せ下さい。

本の詳細 ⇒<http://www.bun-ichi.co.jp/tabid/57/pdid/978-4-8299-6524-5/Default.aspx>



●新・どんぐり博士の育苗講座（2015年7月号）～暑い夏！水やりの注意点は？～

前号までは雨の季節でしたので、根腐れが起きないよう水のやりすぎを注意しました。しかし今回は盛夏を迎える時期で、植物に多くの水が必要な季節となりました。ただしこの時期ならではの注意点がありますので、今回は、夏の水やりについて記します。どんぐり博士：河内和男（「子森ネット」森林インストラクター）



梅雨明け宣言が出されても、なかなか安定した天気にならない今年の夏でしたが、長期予報によると、しだいに雨の日も減り、連日30℃を超える真夏日が続くようになるようです。今年芽を出した苗にとっても、厳しい季節がしばらく続きます。

それではこの暑い夏の間の水やりの注意点です。

- ①【水を枯らさない】毎日水やりするのが基本です。雨の降っている日以外は、必ず水を与えて下さい。35℃を超える猛暑日が続くような場合は、朝と夕の2回水を与えることも必要になります。
 - ②【炎天下での水やりは控える】与えた水が高温になり植物が蒸されてしまうため、炎天下での水やりは避けて下さい。早朝か夕方に水やりをおこなえば問題は無いのですが、それだと子どもたちが水やりに関われませんよね。そこでもう少し時間に幅を持たせると、朝は9時半、遅くとも10時前に、夕方は午後3時半以降を目安に水を与えて下さい。ただし、早い時間帯から高温になる日など、日々条件が変わるので、その日の状況をよく判断して水やりを実施して下さい。
- 夏を乗り越えると苗は、簡単には枯れない強い苗へと生長します。夏の間に何本かは枯れてしまうかも知れませんが、強い苗を育て上げて下さい。苗と一緒に子どもたちもたくましく育つ夏である事を願っております。